



教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2 TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732
http://www.catholic-honjyo-church.org

INDEX

- 「希望の月」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「敬老の祝福」
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他



「希望の月」



主任司祭 パウロ 豊島 治

十一月のご挨拶を申し上げます。

月の始めの一日に諸聖人の祭日を祝います。翌日二日に「死者の日」として祝い亡くなった全ての方の安息を願います。

聖人であっても、その途上にある方でも、友人・知人・家族を始め亡くなられた方を思って祈る時、最も真剣に祈られていることに気づくのではないのでしょうか。死者を念（おも）って祈る時、自分の心にある日頃の思い患いが癒やされ、清められているのです。死者はこのようにして、「神の近さ」を私たちに感じさせてくれます。

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからで

す。わたしたちの地上の住みかである幕屋が滅びても、神によって建物が備えられています。人の手で造られたものではない天にある永遠の住みかです（二コリント 四章十八節から五章一節）」

さらに今月は典礼暦の最終日曜の「王であるキリストの祭日」に向けてすべてのものの終末について思いを新たにする月でもあります。あらゆる終わりはその彼方に私たちを待っている永遠のいのちへと導かれているのです。キリストは、そこに向けて全てのものを導くためにこの世に生をうけ、十字架の死と復活の過越しによって、希望をもたらしてくださいと教会は宣言します。

そしていよいよ今月から「新しいミサ式次第」に切り替わります。新しい式文の解説については、カトリック新聞・東京教区ニュースをはじめインターネットで閲覧できる多くの動画サイトにありますので、教会としては先ず慣れることを主としています。細かい所作はモニターを設置しています。なるべく早く覚えてキ

リストの記念が行われる祭壇に合わせたミサの雰囲気を作っていきます。大司教の呼びかけ（注）や日本語以外を母語とする方々の要望があり、また周辺の観光地をめぐる旅行者も増加する見込みがあることから、教皇訪日のミサのように多言語でのミサができるように準備しました。しばらくは二月の殉教者ミサのこともありますので一部ラテン語を用いたミサ式文で施行となります。新しい式文は教会の暦によって式文が多様になっていきますので、多くのミサ回数で全部を経験することになります。まずは言葉の豊かさを味わいながらミサを大事にする教会になっていきましよう。み言葉と感謝の祭儀によって希望の神の導きに力づけられるように。



（注）左記に内容があります

● 「宣教司牧方針策定のための10の課題まとめ」課題八

● 東京大司教区

「宣教司牧方針」十八頁



方針



課題